

第25号

占 春 会 報

〈編集・発行〉 八尾市千塚2丁目96番地 大阪府立清友高等学校占春会事務局
TEL (0729) 41-3456 FAX (0729) 41-8739

「思いやり」と信念を

占春会会長 河合隼子

占春会員の皆様、又、新入会員となられた皆様、お元気ですか。

いつの間にか、花は葉に、そして今は、初夏の季節となりました。

今年は穏やかな暮明けの年頭でしたが、あの一月十七日の早晩に“阪神大震災”という直下型の激震が都市を襲い、多くの尊い生命を奪い去りました。家が倒壊された方々の中で、未だ避難先での生活をされておられる方達もありません。沢山の清友卒生の中にも

被災された方や、又直接ではなくとも、親戚、知人の方が被災された人達も、多々おられる事も聞いております。私達も、各団体で、又、個人で何かとお役に立てばと懸命でした。

私達の年令のものは、戦後の悲惨さも知っておりますが、今回は天災であり、ふせぎようもなかったともいえるでしょう。それだけに憤りの持つて行く場もなく、せめて、一日でも早い復興を願うばかりでございます。

ご退職になり、後任として赴任いたしました。四月十日には、創立通算五十四期、府立高校第十九期生三二一名を迎えて入学式を挙行いたしました。長い歴史と伝統によって育まれた本校のよき校風を維持しつつ、さらなる発展をめざす学校運営の責務の重さに、自らも決意を新たにいたしました。

ご挨拶

学校長 錦織利治

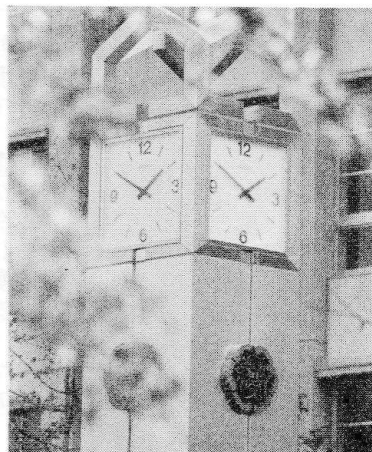


初夏の候、占春会会員の皆様方にはますますご健勝のことと拝察いたします。私儀、永年清友高校発展のため、多大のご尽力と大きな業績を残されました原田彰校長先生が

これからの社会では、環境的に柔軟に対応し、物事を創造的に遂行する姿勢と、真に豊かな生活を求めて主体的に判断し行動できる力を身につけることが大切であり、高校教育において、生徒の多様な能力・適性、興味・関心、進路

さて、校・清友高校のご報告を致します。

今年、原田彰校長先生の定年ご退職、又、永い間、同窓会のお世話を引き受けて手伝って頂きました篠喜好先生も定年でご退職されました。会者定離を今年程強く感じた



事はありません。

占春会員の皆様も、それぞれの立場で、この混沌とした世の中を、希望と信念を持って強く乗り切ってください。我々の母校は健在です。皆様と共に、母校“清友高校”の発展を見守って行こうではありませんか。

最後に皆様のご健康とご多幸を祈りつつ、私のご挨拶と致します。

卒業式に参列して 三句

- 定年の最後の祝辞梅薫る
- 袴はく女教師先導卒業す
- ひげ先生優しき声に山笑う

希望等に対応し、生徒一人ひとりの学習意欲を高め、個性を発揮して、生きていくことができる力を育成することが求められています。そのため、生徒の学習の選択の幅の広いカリキュラムによる教育や特色ある学校づくりなどの高校教育改革が積極的に推進されています。

本校でも全教員が参加する「清友を考える会」を組織して、校務運営組織の問題点や、学習指導や生活指導のあり方、さらに今後の清友高校のあるべき姿を求めて、たえず問題意識をもって日々改革に取り組んでいます。子は親の後ろ姿を見て育つ

といいますが、学校では生徒が教師の姿勢をよく見ています。学校を良くしよう、活性化しよう、そのために懸命に努力している教師を見れば必ずや生徒達もそれに応えてくれることを信じております。本校の教育方針にもありますように、自主創造の精神に富んだ良識ある民主的な社会人の育成は、時代の変化を超越して学校教育に求められる理念であると確信しております。もとより微力ではございますが、この理念の実現に全力を傾注する所存でございますので、皆様方の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

清友高校の今 学校週五日制について

教頭 豊島孝次



占春会の皆様におかれましては、お元気でご活躍のこととご推察申し上げます。昨年の四月、着任のご挨拶を申し上げて、早や一年の月日が流れました。清友高校の春は、校章、校歌にもアレンジされ、歌われておりますように、冬の厳しい寒さに耐えて咲く梅の開花に始まります。この二月から三月にかけて、美しい紅梅、白梅が咲く頃、本年度は四〇四名の新しい卒業生が

母校を巣立ち、占春会の仲間入りをいたしました。年度が改まり四月には、淡いピンクや白色の桜花が咲き乱れる中、平成七年度の入学式が行われ、三二一名の新生を迎えることとなり、清友高校は新しい一年の年輪をきざむこととなりました。今は緑の風薫る、新緑の美しい季節となりました。この豊かな自然環境の中で、若い青春の日々を送る後輩達の元気な声が校庭に響き渡っている昨今でございます。ところで、高等学校教育においては、昨年度から、新学習指導要領による新教育課程が学年進行で展開されており、一、二年生は新教育課程の授業が実施されています。また、本年度から学校週五日制につ

いては、第二土曜日に加え、新たに、第四土曜日が休業日となることになりました。学校週五日制は、学校、家庭及び地域社会の教育の在り方を見直し、社会の変化に対応して、これからの時代に生きる生徒の望ましい人間形成を図る観点に立って実施されるものです。本校では、学校行事の見直しなど年間を通じて授業時数の確保、早期からの進路指導や、教育内容の精選、指導方法の工夫改善などに努力しているところでありますが、保護者や地域社会の連携、協力が重要でございます。占春会の皆様におかれましても母校の近況をご理解いただきますとともに、何かとご協力をお願い申し上げます。本年度、卒業生により寄贈されましたソテツが、校門脇に植樹され、美しい緑の葉をつけています。また、一度母校にお立ち寄り下さい。

母校だより

(平成七年春)

■教職員の異動(敬称略)

▲転・退職▼

原田 彰(校長)

退職

連山栄子(国語)

今宮工業高校(定)へ

吉岡 哲(社会)

山本高校へ

篠 喜好(数学)

退職

田中敬太(理科)

勝山高校へ

窪田利男(英語)

富田林声(定)へ

中川重弘(事務長)

八尾養護学校へ

▲着 任▼

錦織利治(校長)

八尾東高校より

三室昌義(国語)

北淀高校より

藤井一郎(事務長)

山本高校より

卒業記念

植 樹

平成七年二月卒業生
(府高16回生)

創立以来通算53期。府高第16期卒生が、母校へ残した植

蘇 鉄

【ソテツ科】 花は夏期に咲き、常緑樹低木(1~4m)。九州南部から南に自生。庭木にもする。茎は木質のふとい柱状。葉は常緑の大きな羽状複葉で、茎の先に集まって互

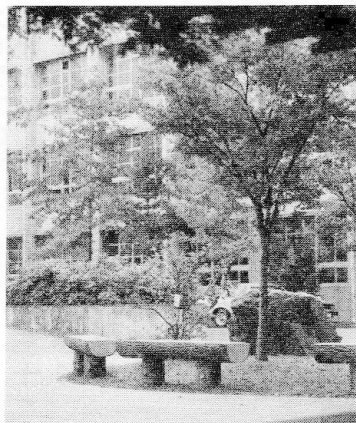
生する。雌雄異株で、お花は長いじく多数のおしべが集まって穂状になり、め花は多数のめしべが集まって球形になる。めしべは、数個の胚しゅがむきだしにつく。種は大きく、核果状になる。世界に約110種あり、日本には1種自生する。

樹は、学校の希望により、正門を下って来た所の南側へ、記念植樹として、「蘇鉄」を残して頂きました。費用は、占春会から卒業記念として、贈呈したものです。「蘇鉄」は根付きもよく、年月がたてばどんどん増えて行きます。花は夏期に頂きを中心に穂が出て、淡黄色の花を咲かせます。



「清友高校 ありがとう!!」

旧職員 篠 喜好



■占春会とおつき合い

一九七三(昭和四十八)年六月二十七日朝、職員室で英語科の吉田節子先生の計報を受けてショックだったのは今も記憶に生々しい。当時吉田先生が担当しておられた色々のお仕事の一つに、昨年亡くなられた西沢小枝先生とお二人で担当しておられた皆さん方の同窓会である占春会係があった。その頃、占春会の活動は軌道に乗り発展一方の途上であって、役員の方々を中心に、清友高校の府立移管問題に取り組み、また今皆さんが手にしている「占春会報」

も第5号と号を替えていた。その重大な時期に、他にも適任の方がおられたが、僕がやりましょうと、学校側の係として西沢先生のお手伝いをすることになったのが、僕の占春会との直接のおつき合いのはじまりであった。それからおよそ二十年間、占春会とおつき合いが続く。この間に清友高校の府立移管とその機会に西沢先生のご勇退、占春の園造園、占春会員名簿発行、創立五十周年記念事業ソーラー式大時計寄贈等々、数々の場面でご一緒させていただくことになり、今その一つ一つに想いが巡るが、僕がお手伝いさせていた最後の大きな仕事は、平成五年度版会員名簿の発行であり、これが無事できあがったときは大変うれしくもあり、またちょっとさびしい気持ちにもなった。

ところでお手伝いさせていたいただいた二十一年間で、空しい気持ちになったのは郵送された占春会報が返送されてきて文字どおり山積みになったことである。現在こそコンピューター処理で発送も業者がやってくれるようになってはいるが、つい最近までは本部役員の皆さん、回期代表の皆さんの並々ならぬご苦労があった。毎年何回か役員会があり、会報ができあがると回期代表の皆さんに集まってもらって一人一人への宛て名書き等々、会員の皆さんには見えないところを見て知っているので、段ボールに何箱かの未開封の封筒の山は空しさを覚えざるを得ない。その空しさをなくすためには、一通一通見直して宛て名の書きまちがいや住所変更の不徹底分は再発送し、それが無事着いたらしいとわかったときは大げさだけれど感激だった。しかしそれも精々年平均三十通どまり、多くは封筒から会報を抜き出して捨てなければならなかった。こんなことを長々と書いたのは、会報が皆さんの手元に無事到着することを願っているからで、これを読んでいただいている皆さんには、これから住所変更等がある場合は必ず連絡してくださいとお願ひするとともに同窓の友人などにも機会があれば伝えてください。さてもう一つ、心残りなのは昨年の会報で役員の皆さんが訴えられていましたが、「総会」の危機です。お手伝いさせていたできてきた僕も責任を感じますが、色々な占春会活動の中核である「総会」が成立しないことは、栄光の足跡をきざすついで、皆さんのための会が皆さんによって皆さんの手で盛りかえし盛りあげてください。

僕は「直接のお手伝いはできませんが、総会に出席して、場を与えていただければ過去の失敗談や自慢話など皆さんに笑ってもらえることをしゃべってみようかなと考えています。(そんなもの聞きたくないって言われればおしまいですが)」

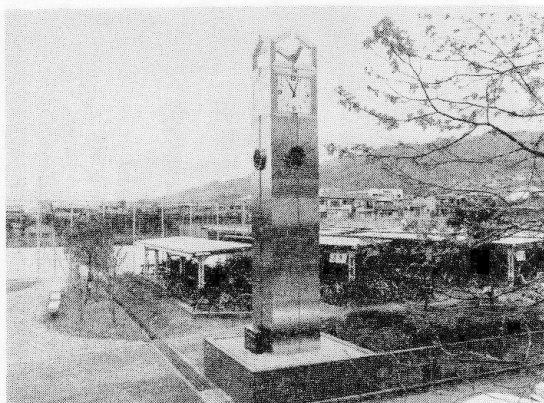
■別れにあたって

中学校教員を志していた僕にとっては不本意な清友高校への赴任でしたが、それがとうとう三十八年間で、定年退職まで勤めさせていただくことになりました。ありがとうございました。一校経験とはいえ、途中で八尾市立から府立へと移管され、小規模な女子単学校と大規模な男女共学校とを経験させてもらったことにも感謝しています。ふり返ってみると、いやなこと多く

さんあったとは思いますが、総括すると清友高校で勤めさせていただいたことに幸福感が一杯わきあがってくる今日この頃です。清友高校にかかわっておつき合いさせていただいた皆様にはご迷惑をおかけしたことも多々あったことをおわびするとともに、お世話になったことに対して本当にありがとうございます。

なお定年退職後の身のふり方については、まだ隠居してしまう気持ちはなく、本業?は三月末現在未定ですが、副業?としては、しつこくもあつかましくも母校清友高校で週に二日、非常勤講師としてなお勤めさせていただくことになり、三十九年目の清友で少しでもお返しできればと願っています。

ありがとうございます清友高校。



原田彰先生 歎喜好先生

長い間、御苦労様で ございました!

(占春会)

原田先生とわた くしたちの「絆」

「元スカタン」から
「スカタン」へ

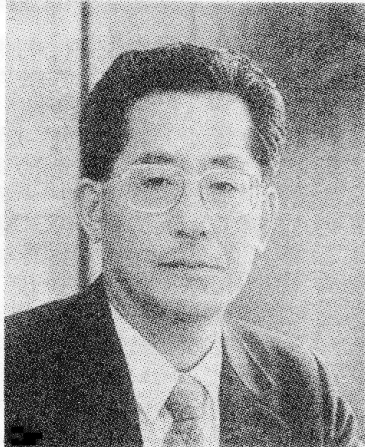
わたくしたちは、昭和三十四年の春、はちきれんばかりの数々の夢を抱いて清友高等学校の門をくぐりました。そしてまた、我が恩師 原田彰先生も、大学卒業直後の初々しい青年教員として当校に赴任されていました。それから三年間、私達の学年を持ち続け、卒業の時、原田先生がわたくしたちのクラス担任となり、結果的にわたくしたちは、先生の教えを独り占めする幸運に恵まれることとなりました。

大阪府立大学を卒業され、生物学で博士号を取得する準備をされていた若き学究ハダの原田先生は、「シダ類」の研究の一端を生物の授業で披

露されたり、各種シダの採集に生徒を連れて高山山を歩いたり、スキが都市から姿を消して行く運命にある話など、今から思えば、お転婆ざかりの私達に、落ち着きのあるしとやかさが身につくよう、大変な心配りをされていたように思います。

そんな先生のご配慮をよそに、わたくしたちは相変わらず先生の教えの半分も理解することなく、顔は真っ黒に、目だけはキラキラ、ずうずうしさを競う「お転婆道」をまっしぐらに進んでおりました。

そのような時、懐かしく今思い出おこすのは、原田先生に「ニックネーム「スカタン」の命名であると思います。現在では虫も殺さない円満穏やかな原田先生ですが、当時の先生は新進気鋭の穏やかな中にも、厳しさが適度に覗き、お転婆娘たちを前に、あの時期教え甲斐のない我々の



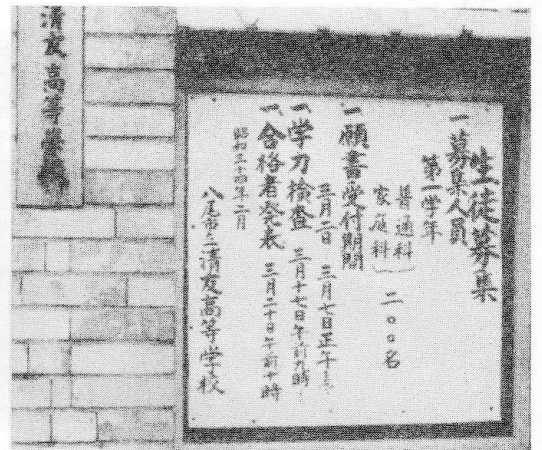
生活態度に業を煮やされ、「スカタン!」と激励とも皮

肉ともとれる叱責を頂いた仲間が多くなってきておりました。

そこは、頭の柔軟さだけは誰にも負けない清友高校の生徒のこと、自分達に名づけられた「スカタン」の名称を「熨斗」をつけてなんと原田先生に返してしまつたのです。いつからともなく生徒につけられた「スカタン」が、「スカタン」そのものとして独立して命を持ち始め、ある日から、校内で「スカタン」の名称は逆転し、完全に原田先生の名前の代わりを務めることになったのです。

その「スカタン」こと原田先生は、ニックネームの伝達者である私達を卒業させた後、さばさばされたのもつかの間のこと、クラスメートからの恋の話・仕事の話・親族の話などの悩みごとを何くれとなく聞いておられ、先生からのダイレクトメール「絆」が卒業後一年も経たない間にわたくしたちの家に送られてきました。

わたくしたちは、今年で母校卒業丸三十三年になります。この間発行された「絆」は四十九号を数えました。いつのころからか、私達卒業生が子育てを終えたところからは、各人それぞれの近況報告も数多く掲載されるようになり、作成も原田先生一人にお任せ



するのでなく、同窓会の世話人によって原稿集め、構成、印刷、配送が出来るようになりました。

その頃から、「絆」は原田先生と卒業生の関係から、原田先生を先頭とした同窓生相互の生活の「きずな」として歩み続けてきました。

「子育ての悩み」、「夫や子供の自慢話」、「病気の話」、「家にまつわるもろもろの話」、「嫁姑の話」、「離婚の話」、「親や子供との悲しい別れ話」など、身近な出来事が毎号掲載され、今思えば、「絆」はわたくしたちが「熟女」と呼ばれるまでに年を重ねた貴重な記録でした。

原田先生から「スカタン」と叱責されたわたくしたちが、この「絆」を通じ、先生からやさしさを学び、そして同窓生同志がささえ合い、励まし

合うことによってやっと五十路に達し、少しばかり原田先生の言う「スカタン」から脱却出来たのではないかとひそかに自負しているところです。原田先生は、今年平成七年三月に母校の校長先生をご勇退になりましたが、わたくしたちの「絆」は、今後、先生のさらなるご健勝をお祈りし、わたくしたちの「六十路」、「七十路」そして「八十路」の歩みを記録することでしょう。

原田 彰先生、本当に長い間、御苦労様でございました。これからもお元気で熟女にご指導よろしくお願ひします。

「歎喜先生との思い出」

市高五回 小寺康子

(藤田)

公立で女子高という、大阪でもめずらしい学校、清友高校に入学できましたので、とても嬉しかったです。

今まで、男女共学の生活を送ってきましたので、女子高に入ることに夢と希望をもって胸はずませて入学をしました。

心の中では、これでうるさい男子生徒と別れることがで

きるので喜んでいました。一年生は三クラスで、A組の担任は松尾先生、B組は原田彰先生、C組は篠先生。私はC組で篠先生が担任だったので。

篠先生は、見た感じは無口そうに見えたのですが……

私達は、代数と古文を習うことになりました。授業を受けるようになり、耳に慣れてくるまでには、時間を要しました。

廊下や階段を歩く時には、直角に曲がって歩かれるので、変わった先生だなと思いました。いつも直角に歩かれるので、私達は、篠先生に「ロボット」とあだ名をつけました。それが、現在まで続いてきたようです。

又、先生は、写真がお好きだったようで、授業中や何か行事がある度に、首に写真機をぶらさげてパチパチと所かまわずに写されるのでした。

仕事や学習など何かを頑張った時には、その写真が頂けるというのでその写真ほしさに頑張ったこともありました。

担任の先生の影響を受けまして、私達も写真をとったり、焼いたりするのが好きになりました。それで自分で印画紙を買ってきて白黒写真ですが、暇さえあれば焼いたりしました。写真についての楽しさを

教えて頂いたように思います。

二年生になって、家庭科、商業科、普通科と三つのコースに分かれました。

商業科の希望者が多かったので、A組は、家庭科と商業科と一緒にになりました。A組担任は松尾先生。B組商業科担任は宗平先生。

私は普通科C組、担任は篠先生でした。

卒業をするまでの二年間、クラスがえはしなかったのです。

私は、篠先生と縁があって三年間担任でした。

近くに男子があまりおりませんでしたので清友高校の先生の先生は、若い大学出たての先生が多く、友達みたいな感覚で、先生方と接することが出来、仲良くさせて頂きました。

三年間、楽しく、自由に高校生活を過ごせることができたと喜んでおりました。

これも、女子校だったからだと思います。

私達が卒業する時に、お世話になった気持ちとして先生にオルゴール時計のプレゼントをしたのです。

曲名は「トロイカ」でした。いつまでも休まずに走り続けて頂きたいという願いをこめて贈ったのです。

その曲の題名「トロイカ」をとり、私達に今日まで三十

四年間にわたって、「トロイカ」新聞を送って頂いてきたのです。

学友の近況や、学校の事、先生方の事などいろいろと詳しく知らせて頂いているお陰で、長い間お会いしていません。いろいろなことがわかります。

私達旧三Cのみんなは、こうして細やかに書き続けてお送り頂いている篠先生には、心から感謝を致しております。三十四年間こうして続けるのは並大抵のことではないと思います。

やはり、篠先生の真面目で実直な性格のお人柄がにじみでているのです。

この度、三十八年間の教職生活を終えられましたこと、本当におめでとうございます。

旧三Cのみんなが篠先生の退職を祝ってお祝いの会をもつことになりました。

四月七日、梅田の「北瑞苑」というところで開いたのです。

同じく退職される原田先生と、宗平先生の三人をお招きしました。

三人の先生方を囲んで、いろいろと昔の思い出話に花が咲き、なごやかなひとときを過ごすことができました。

そして嬉しいことには、三人の先生方、今年高校に残ったり、行かれたりして、教鞭をとられるとお聞きしました。

いつ、お元気で、お仕事を続けて頑張ってください。すこすこを心よりお祈り申し上げます。

「篠先生の思い出」

市高五回 宮崎精乃

(花咲)

先生と私達は、今から三十七年前に清友高校に入学した時、担任教師と生徒でした。

あの十五才で入学した頃は、あれもしたい、これもしたいとワクワクの「〇×族」でした。篠先生は、数学の先生と言う事で、私は、苦手なこの教科をどうしようかと、悩みました。ところが、ところがとても分かり易い指導だったので、数学が「苦」にならなくなりました。当時は上位の成績が廊下にはり出されていきました。

あ、そう、そう、先生は、変わった先生でしたね。校内の廊下はすべて直角に廻られたり、顔の表情が全々変わらなかつたり、そんな事から、あの「ロボット」と言うニックネームが付きました。

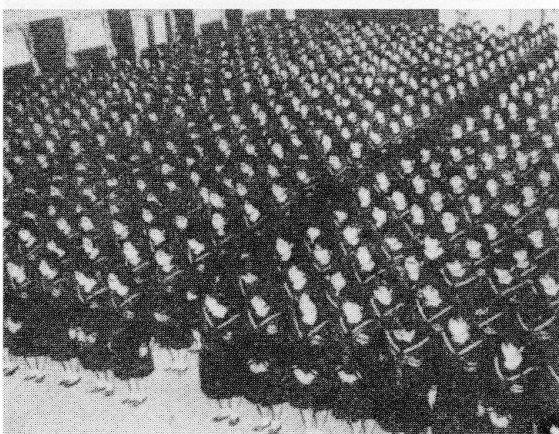
又先生は、独身でいらっしやいましたので、どんな方と結婚されるのかすごく気になっていたのも確かですね。

私達が初めての担任、しかも三年間、先生自身も「力」

を入れていただったのでしようか、あの卒業式から「トロイカ」という機関紙が届く様になったのは、毎年、毎年、年に何回も旧三Cのクラス生全員に、今もなお送られてきます。「トロイカ」は、先生と旧三Cを結ぶ情報紙なのです。

先日先生の定年退職お祝会がありました。年を感じさせないシャキッとした先生と、私達旧三Cの生徒は、三十四年前にタイムスリップです。それは、それは、笑いあり、涙ありの熱い、熱い数時間でした。最後の「校歌」を先生が一人で歌われましたね。皆んな、「ジーン」と感動の瞬間でした。

あの白いラインのセーラー服の生徒は、これから先も後続きます。いつまでも、私たちの先生でいて下さいね。



随 想

「清友高校文化祭にて」

市高六回 辻野伶子

占春会会員の皆様にはご健にてご活躍の事と存じます。母校の占春会には日頃ご協力をいただきありがとうございます。



母校清友高校が昨年の秋に催されました文化祭には、占春会会長河合様とご一緒させていただきました。なつかしい高校時代にタイムスリップいたしました。後輩の方々の



学校生活とクラブ活動等、日々研鑽されました成果を拝見させていただきます。又、新たに府立高校教育を実感する事が出来ました。クラブでも茶道、華道には、男女共に充実した高校生活を満喫され、和やかなコミュニケーションの場として、その中にも緊張感があふれる様子に、先生方、PTAの皆様方のご指導とご支援の成果が伝わってまいりました。社会では、色々なことが複雑に変化しつつありますが、どうか在校生の皆様は高校時代の素晴らしい礎を忘れる事なく、これから社会へ出られてもこれらを大切にされます様、祈っております。今後共、清友高校が、ますます発展されますことを願います。想とさせていただきます。

「占春会員のみなさま

いつもありがとうございます」

会計 柳生和子
植木功子

新緑の季節が過ぎ、目さやかに初夏の訪れを感じる此頃、占春会員の皆様には恙なくお過ごしのことと存じます。今年も年初より兵庫県南部地震が起き、被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げます。あの生々しい地獄の映像をテレビで、又、直に見て、一日も早い復興をお祈りするばかりでございます。またその悪夢も覚めやらぬ間に、オウム真理教・サリン事件等、到底常識では信じられない異常な腹だたしい事件が重なり、今年には史上稀にみる極悪の幕明

けの年となり、円高は最高潮の内に失業や企業倒産の続く不穏な状況で、不安な毎日でございます。けれども沈んでばかりはいられません。貴の花関の結婚など明るい報道に暫し和む昨今、明るい、楽しいものに夢と頑張りの糧を求めて前向きに頑張ろうではありませんか。今後共、我が占春会の益々の発展にご理解とご協力をお願いいたします。左は昨年度(平成六年度)の会計報告でございます。

平成6年度 会計報告書 占春会

単位=円

| 収 入 | 支 出 |
|--------------|----------------------|
| 前年度繰越金 | 24号会報制作費 379,421 |
| 入 会 金 | " 発送費 705,440 |
| 平成6年度卒(404名) | 会報返送者調査費用 21,130 |
| 雑収入 | 通信費 1,758 |
| 預金利息 | 会議費 61,560 |
| | 慶弔費 250,000 |
| | 平成6年度 卒業記念植樹費 70,000 |
| | 翌年度への繰越金 9,246,709 |
| 合 計 | 合 計 |
| 10,736,018 | 10,736,018 |

<翌年への繰越金の内容>

| 収 入 | 支 出 |
|---------------|----------------|
| 富士銀行東大阪支店 | 定期預金 4,692,632 |
| | 普通預金 7578 |
| 大阪商工信用金庫 生野支店 | 定期預金 1,033,200 |
| " | 普通預金 3,513,299 |
| 合 計 | 9,246,709 |

以上の通り報告いたします。
平成7年7月7日

会 計 柳生和子
植木功子
会計監査 小林慶子
中野郁子

☆上記会計報告について、厳正適正であったことを報告いたします。

清友高校ありがとう！ 占春会のみなさま…… ありがとう！

今は亡き西澤小枝先生の
一周忌に、先生の甥御様より
志として金一封を賜りました。

次に原文を掲載させて頂き、
西澤小枝先生のご生前を更め
て、偲びたいと存じます。



明るい陽ざしと共に、春の
訪れを身近に感じる此の頃
でございます。

皆々様には、お変わりなく
ご活躍のこととおよろこび
申し上げます。

さて、故西澤小枝生前中
は、本当に暖かく接してい
ただきまして、歳を取るに
従い身もおぼつかないにか
かわらず、清友の行事には
家族が止めてもきかずに参
加させていただき、ずい分

ご迷惑をおかけしたことに
申し訳なく存じております。
故人は人生の大半を清友高
校と共に過ごし、何よりの
生き甲斐にしていたようで
ございます。去る二月十日、
一周忌法要も無事に終了い
たしましたので、誠に些少
でお恥ずかしいものではあり
ますが、故人の大好きだっ
た「占春会」の行事の一部
の足しにして頂きたくお送
りさせて頂きたく存じます。
何卒ご笑納下さいまして、
何かまにあう事にお使い頂
き度う存じます。
時節柄ご自愛下さいませ。

合 掌

金光寺住職

西澤了淳

占春会御中

「役員」紹介

(敬称略)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|------|-----|------|------|------|------|------|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|
| 稲羽 相談役 | 高 濱 | 古 田 | 三 原 | 村 上 | 坂 口 | 藤 平 | 江 本 | 古 川 | 評議員 | 姫 川 | 東 村 | 大 海 | 山 崎 | 理 事 | 中 野 | 小 林 | 植 木 | 柳 生 | 会 計 | 谷 村 | 林 越 | 辻 野 | 書 紀 | 永 岡 | 中 易 | 副 会 長 | 河 合 | 会 長 |
| 恭 子 | 真 由美 | 明 伸 | 清 子 | 和 子 | 千 香子 | 君 枝 | ひろ子 | 雅 子 | 通 代 | 常 保 | 久 美子 | 信 子 | 詔 子 | 郁 子 | 慶 子 | 功 子 | 康 子 | 和 子 | 淳 司 | 元 子 | 伶 子 | 征 子 | 敬 子 | 津 子 | 津 子 | 津 子 | 津 子 | 津 子 |
| (稲部) 女1 | 高 8 | 高 3 | 市 22 | 市 20 | 市 17 | 市 12 | 市 10 | 市 5 | 高 3 | 市 14 | 市 11 | 市 7 | 市 6 | 女 1 | 女 1 | 市 6 | 市 5 | 女 4 | 高 5 | 市 23 | 市 6 | 市 3 | 女 4 | 女 2 | 女 2 | 女 2 | 女 2 | |

お花がい

賛助に御協力を

会報25号は、本年度総会が
引き続き取り止めの為、また、
昨年24号紙上でお知らせしま
したように、昭和49年卒業以
前の賛助会員と昭和50年以降
の全卒業生に送付しました。

来年度会報26号は、49年卒業
生以前の方達へは、今の処賛
助金振込者のみに送付される
事になります。従って、49年
度以前の卒業生の方で、会報
購読希望の方は、左記係まで
送金下さい。お問い合わせも
どうぞ。

■(送金先)
〒631 奈良市中山町西1-1
868-139
小寺 康子(宛)

■(会報購読希望の方)
賛助金 一口、三、〇〇〇円

★なお、賛助金を送金下さ
った方は一定の区切りで係でま
とめられ、役員会に報告。会
報を経由して原簿に入力され
登録されております。

平成六年度 賛助者ご芳名

△敬称略▽

左記の方々は、平成六年度
中に賛助金をお振込み下さ
った方々です。厚く御礼申し上
げます。

(但し昭和49年卒業以前の賛
助者)
締切りと印刷の関係で、最近
お振込み下さった方でご芳名
を掲載出来なかった方々には
何卒ご容赦下さいませ。
(役員一同)

- 昭和27年卒業
梶 砂子(池田)
- 昭和30年卒業
森田真希子

■既に賛助者でありながら、
賛助金を機会に触れご送金下
さる方もあり、役員一同感謝
しております。この賛助金の
お振込みにも、平素ご多忙な
会員皆様のわざわざのご配慮
に負うご面倒が予測され、も
う少し簡便な方法が必要とも
思われ、又常々振込みしたく
思いながらつい多忙に流れて
いるとの意見もありますので、
一度見当しております。

事務局からの 掲 示 板

■今年も引き続き総会は取り止めます。

会員皆様の積極的なご参加を期待し、より良い意義有る総会にすべく、役員一同充電中でございます。どうか来年を楽しみにご期待下さい。

■異動通知は必ずお出し下さい。

去年は届いたのに、今年は配達不能で戻って来る会報の封書が多いのです。毎々会報には度重ねてお願いしていますが、結婚、転居、地名変更、転職、物故の時は是非お知らせ下さい。ハガキで結構です。

〒581 八尾市南本町五―三―十一

☎ 〇七二九―二二―四五〇三

辻野伶子まで

■不明者解明と、その情報提供にご協力下さい。

占春会では、今後益々占春会の繁栄と会員の絆を深めるため、不明者解明に力を注ぎ、内容ある同窓会を作ろうと思えます。何卒ご協力下さい。その為、出来る限り皆様の周囲の会員の方の情報や不明者の情報をお知らせ下さい。

■占春会では男子役員候補を募っております。

昭和二十一年三月、高女第一回生輩出より五十年、昭和五十七年三月、男子卒業生輩出より十三年が経過し、その男子会員も三十一才となり、名実共に充実した占春会に成長して参りました。そろそろこのあたりで、男子会員の積極的な「占春会」執行部への参入を期待して、役員一同お待ちしておりますのでどうかご参入下さい。また、皆様からのご推薦を

お願いいたします。

■名簿少々残っております。

ご入用の方はお申込み下さい。

名簿は清友卒生の唯一の縦緯のつながりを現すものです。ご入用の方は

〒544 大阪市生野区巽北三―

十二―二十七

植木功子まで

但し正会員、又は旧職員のご本人のみしか販売出来ません。一冊、三、八〇〇円（送料含）です。

■クラス会便り、学年会、クラブ懇親会等のご報告をお待ちしております。

懇親会やクラス会、同期会など持たれた場合はお写真も添えてどしどしご寄稿下さい。占春会報にも掲載させていただきます。占春会報にも掲載させていただきます。

■学生時代に、新聞部等で活躍しておられた方、又は興味があつてお手伝いいただける方、会報作成にご協力下さい。お願い致します。会長・河合まで（電話〇六―七八―一六二六）

■慶祝・訃報記事や、各期、各クラスの催物・イベントの連絡または同窓会の開催通知なども占春会報をご利用下さい。

■昨年の会報で、総会中止の件で会員の皆様に「何かよい考えがあればお教え下さい。」と呼びかけました処、早速川口和美さんからご意見のお手紙を頂きました。名簿を見ましてもお電話が分かりません。この会報をご覧になられましたら、会長宅までお電話下さい（電話〇六―七八―一六二六 河合まで）。

編 集 後 記

毎年「学年だより」「クラス会だより」などの寄稿が少なく、事務局では淋しく思っています。私達の占春会を充実し、母校・清友高校と相携えて益々の発展伸長を期し、毎年この私達の秘蔵っ子「占春会報」の到着を首を長くして待っていて下さる占春会員の大勢の皆様により充実した

楽しいもの、期待し得るものとなる様に、色々な企画を凝らし、皆様の意見もどしどし反映出来るように常々考えております。その為にも、よい紙面作成に向け、皆様からの種々な記事も収集し、また媒体としての一翼を担えるように「占春会報」の担当員も充実し、男子役員の参画もお願いしたく存じております。紙数にも限りはありますが、いろいろな行事や出来事を満載して、今後は現職員や在校生、そして出来得れば全占春会員の皆様にも毎年配布出来るようになればと願っております。占春会員の社会での活躍ぶり、旧職員先生のご消息記事、また詩、短歌、俳句、会員の会社やお店の紹介など種々なジャンルに挑戦して、楽しい充実した、格調高い紙面をお届け出来るように頑張るつもりです。どうか皆様もよろしくご協力下さい。

毎回、度重ねて同じお願いを掲げておりますが、占春会員の皆様、ご結婚、ご転居、改姓、転職、物故などの異動の時は、どうか必ず上記（辻野伶子）又は事務局までハガキ一枚、ファックスでも結構です。異動通知をお届け下さい。占春会員の全員の皆さまに「占春会報」をお届けして行きたいのです。（河合聿子）